

授業科目	*こども文化 (D クラス)				単位	1		
履 修	必修	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11223J		
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP3-1 DP5-3			
担当教員	池田 佐輪子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>子どもの生活の中で「遊び」のもつ意義は大きい。それは、「遊び」を通して子どもは、心身の発育や興味・関心、探究心などさまざまな能力を開花させ、生きる力を身につけていくからである。この子どもの「遊び」をより深め豊かにするものとして、こども文化がある。授業では実務家教員として、保育所での 25 年間の保育実践に基づき、絵本、紙芝居やペープサート、パネルシアターなどのこども文化財の制作、活用、そして保育現場での子どもとの具体的な関わり方等についてを説明していく。</p> <p>子どもの感性を豊かにする文化財について考えを深めて実際に制作し、いろいろな実践方法を学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.子どもの成長と文化の関わりについて説明できる。</p> <p>2.さまざまな子どもの文化財についての基本を説明できる。</p> <p>3.子どもを取り巻く文化に関心を持ち、主体的に課題発表に取り組む。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	40	50	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				30	50	10	90	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)				10			10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子どものより良い育ちについて理解しようと努め、子どもの感性を高め、表現力を豊かに育てる課題発表を楽しんでできる。				子どもの遊びの中から子どもの文化が生まれることを理解し、子どもをイメージしながら課題発表ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業の概要と目標、課題および提出物について説明			・シラバスを用いて、オリエンテーション		・絵本カード ・手遊びカード		30

	する。	ョンを行う。 ・絵本カードのプリント配布	* 絵本カード、手遊びカードはファイリングして、毎月最初の授業のときに提出する。	
2	テーマ:こども文化について こども文化は子どもの遊びの中から生じたものであることを知り、子どもと文化との関わりおよび子どものための文化財について学ぶ。 保育人形の意味や保育での活かし方について理解する。	・資料による説明と手遊びの紹介、実践 ・保育人形の説明	・絵本カード ・手遊びカード	30
3	テーマ:伝承遊びと保育人形 わらべうた、手遊び、その他「昔遊び」といわれる伝承遊びについて学ぶ。 保育人形の制作をする。	・資料による説明と実践 ・保育人形の制作	・絵本カード ・手遊びカード ・保育人形制作の材料準備	30
4	テーマ:子どもと文学 言葉遊び、紙芝居、ストーリーテリングについて、そのおもしろさを知り、保育人形も活用した実践方法を学ぶ。	・資料による説明と保育人形も活用した実践	・絵本カード ・手遊びカード ・保育人形を使った発表	60
5	テーマ:絵本総論 絵本をめぐる行為、その定義の捉え方、多様なありから、可能性と課題について理解し、実践方法を学ぶ。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	30
6	テーマ:絵本と出会う 書店における絵本の売り場づくり、絵本の流通について理解する。(外部講師)	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	30
7	テーマ:キリスト教文化と子ども キリスト教の行事を通して、キリスト教保育が目指す子どもの育ちを学ぶ。	・キリスト教保育の主な行事の教材を用いた説明	・絵本カード ・手遊びカード	30
8	テーマ:シアター形式の子どもと楽しむ文化財(1) パネルシアター、ペープサートについて知り、その実践方法を学ぶ。	・パネルシアター、ペープサートの作成の説明と実演	・絵本カード ・手遊びカード	30
9	テーマ:シアター形式の子どもと楽しむ文化財(2) テーブルシアター、エプロンシアターについて知り、その実践方法を学ぶ。	・テーブルシアター、エプロンシアターの作成の説明と実演	・絵本カード ・手遊びカード ・パネルシアター、ペープサート、テーブルシアターから一つ選んで個人発表の作品を制作する。	30
10	テーマ:シアター形式の子どもと楽しむ文化財(3) 人形劇および人形について知り、その実践方法を学ぶ。	・人形の作成の説明と人形劇の実演	・絵本カード ・手遊びカード ・予習:グループ発表の準備を整える。	30
11	テーマ:グループ発表(1) シアター形式の課題発表を通して、保育者としての演技方を体験する。	・学生によるグループ発表と意見交換	・絵本カード ・手遊びカード ・予習:グループ発表の準備を整える。	60
12	テーマ:グループ発表(2) シアター形式の課題発表を通して意見交換を行うことで、お互いを高め合うことを学ぶ。	・学生によるグループ発表と意見交換	・絵本カード ・手遊びカード ・予習:個人発表の準備を整える。	60
13	テーマ:個人発表(1) 個人発表の体験と友だちの発表を見合うことにより、自己の課題に気づく。	・学生による個人発表と意見交換	・絵本カード ・手遊びカード ・予習:個人発表の準備を整える。	60
14	テーマ:個人発表(2) 個人発表の体験と友だちの発表を見て意見交換を行うことで、お互いを高め合うことを学ぶ。	・学生による個人発表と意見交換	・絵本カード ・手遊びカード 「子ども文化ファイル」作り(絵	60

			本カード50枚、手あそびカード50枚) ・予習：個人発表の準備を整える。	
15	テーマ：個人発表(3)とまとめ 個人発表の総括により自己課題を見出し、次の学びへとつなげようとする。	・学生による個人発表と意見交換 ・総括 ・提出物：ファイリングした、「絵本カード」、「手遊びカード」	・課題を整理する	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日常生活で見かける子どもや親子の様子を意識して観察してみましょう。日頃から子どもに興味・関心を持つことが大切です。また本学の「絵本の部屋」、図書館や書店などでも絵本や手遊びの本などを見るように心掛けましょう。			
テキスト	なし。 必要に応じて、プリントを配布。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考書 「ことばと表現力を育む児童文化」 萌文書林 コダーイ芸術選書21「新訂わらべうたであそぼう」(全4巻) 明治図書			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習や就職後に活用できるように、毎月始めに、絵本カード、手遊びカードをファイリングしたものの提出があります。日頃から図書館や書店等で、良い絵本に触れるよう心掛けましょう。また、今日の子どもを取り巻く情報環境の中で、子どもの育ちにふさわしいものを選び取るにはどうすればよいか、考えながら学びを進めてください。
達成度評価に関するコメント	発表(グループ、個人)、提出物についての内容・評価は、授業の中で適宜説明します。「その他」については、授業への積極的な参加態度や意見発表等で評価していきます。